

鶴岡市ボランティアセンターだより

発行・お問い合わせ
鶴岡市社会福祉協議会
鶴岡市ボランティアセンター
〒997-0033 鶴岡市泉町 5-30
Tel: 23-2970 Fax: 23-9110
E-mail: shk-vol2@shk01.jp



学生たちのボランティア活動⑤



今年度は、鶴岡市内の中高校生など学生が地道に取り組んでいるボランティア活動を紹介しています。コロナ禍で、福祉施設での活動等はまだまだ以前のようにできない状況にありますが、学生たちが工夫をしながら新たな活動も含め様々な取組を行っております。今回は次の学校とサークルを紹介いたします。

鶴岡高等養護学校

～学校周辺の地域・施設でボランティア活動～

学年ごとに地域に役立つ活動を！

令和元年までは、生徒会が主催し全校で通学路の美化活動を行ってきました。ただ、コロナ禍で全校一斉の活動が難しくなってからは、学年単位でボランティアについて考える時間を設けて地域のためになる様々な活動を行っています。
(以下、令和3年度の活動紹介です。)

<1年生>

- ・小真木原総合体育館の観客席の椅子ふき
- ・朝陽武道館と野球場の窓ふき

<2年生>

- ・学校周辺の町内会、第四学区コミュニティセンター、生徒が利用するバス停周辺等のゴミ拾い、清掃
- ・高齢者宅の除雪等

<3年生>

- ・小真木原運動公園内にある体育館、野球場等の清掃



1年生



2年生



3年生

ビルメンテナンス学習を活かして！

活動した生徒より

テニスコート2面分の落ち葉拾いでは、ゴミ袋20枚にもなった。それを農家の方が腐葉土に利用することを知り、この活動をして良かったと感じた。

同校では、1年生の後期にビルメンテナンス学習を行っているとのこと。その技術や道具を活かして、公共施設等の清掃活動に取り組んでいます。今後は高齢者施設等の清掃活動も計画していきたいとのこと。

櫛引地域高校生ボランティアサークル

NO-SIDE (ノーサイド)

～櫛引地域に密着した様々なボランティア活動～

「黒川能」や市推奨花「サルビア」に関わる活動！

櫛引地域といえば、「黒川能」「サルビア」をイメージする人が多いと思います。昭和55年、櫛引中学校を卒業した高校生たちが「の能の会」として発足、昭和62年に「NO-SIDE」と改名してボランティア活動に取り組んできました。

黒川能の王祇祭で振る舞われる、凍み豆腐の仕込み作業へのお手伝いや、野外ステージで行われる

「水焰^{すいえん}の能」の会場準備など地域の伝統行事にも協力しています。
(コロナ禍では間隔をあけた客席設置や、椅子の除菌作業等も)

また、市推奨花「サルビア」の植栽活動も、長年にわたり櫛引地域の人たちと共に継続している取組です。



王祇祭「豆腐焼き」



サルビアの植栽

コロナ禍前の活動も…落ち着いたらぜひ！

活動した生徒より

ボランティア活動を行って、地域の人役に立てたことがうれしかった。感謝された時、やりがいを感じられて、自分の自信にもつながった。

コロナ禍でも、公共施設駐車場の青色塗装やライン引きの活動には取り組んできました。ただ、保育園や高齢者施設での活動ができずにいるため、今後、コロナ禍が落ち着いてきたらまた様々な人たちと関わる活動ができることを、皆さん願っておりました。

2022年度「愛の鳩賞」に決定！



鶴岡南高校 JRC 部

毎年、公益財団法人山新放送愛の事業団が行っている「愛の鳩賞」顕彰。今年度の贈呈先に、鶴岡南高校 JRC 部など県内から3団体が選ばれました。南高校 JRC 部は、40年以上もの間その時代の状況やニーズをキャッチして柔軟に様々なボランティア活動を行ってきたことが高く評価されました。



贈呈式の予定



月日 12月8日(木)
場所 山形メディアタワー
(山形市)

贈呈式の前後に、山形新聞、山形放送テレビ等で紹介予定。また、ボランティアセンターだより2月号でもあらためて紹介します。



学生たちと「社会を明るくする運動」がコラボ♡

～中高校生・保護司会・ボラ連協・教育委員会・社会福祉協議会が連携～

令和4年10月23日(日)、鶴岡駅前マリカ西館の市民ホールで、日頃ボランティア活動を行っている学生、保護司会、ボランティア連絡協議会、教育委員会、社会福祉協議会などから40名程が参加して「鶴岡・田川地区高校生等ボランティア交流会」を開催しました。交流会終了後は、年度内を目途に、各高校ボランティア部と地域の学生ボランティアサークルが「社会を明るくする運動」の啓発グッズやメッセージカードを作って、各地域の中で啓発活動を行います。

学生のボランティア活動を知る！



▲さくらんぼテレビで放送してくれた活動紹介の一コマ！

コロナ禍の影響で開催出来ずにいた、学生と社会人が参加するボランティア交流会を3年ぶりに実施できました。学生たちが、コロナ禍前取り組んでいた活動や、この状況でも工夫をして行っている活動を紹介してくれました。参加した学生や保護司会等の大人たちに、鶴岡・田川地区の学生の様々なボランティア活動を知ってもらう機会にすることができました。

保護司会の活動と学生のコラボ！



▲保護司会の活動を聞いたあとに、みんなで啓発グッズづくり！

保護司会の役員から、「社会を明るくする運動」の説明を聞いたあとに、今回学生たちが地域団体などへ訪問して届ける、啓発用グッズとメッセージ作成等の作業を行いました。年度末までの間、各部活やサークルごとに作業と訪問活動が行われます。

「社会を明るくする運動」は、保護司会が取り組んでいて、すべての国民が犯罪や非行の防止と、犯罪や非行をした人の改善更生について理解を深め、明るい社会を築くための全国的な運動です。

～犯罪と非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～

700枚の反射材づくりに協力！

鶴岡工業高校の皆さんに感謝

鶴岡工業高校では、以前から保護司会の活動で使用する反射材作りや事業への協力を行ってきました。ただ今回は、鶴岡・田川地区全域で使用する700枚という、多くの反射材を依頼させていただき、大変だったと思います。

協力してくれたのは、生徒会、ボランティア推進委員会、ものづくり研究クラブ・コンピューターサイエンスクラブのメンバーでした。皆さんは、授業が終わってから、生徒会や部活等の合間に時間を作って協力してくれたのでした。

鶴工生の皆さんの想いは、他の学校や地域の学生サークルに繋がって、素敵な活動に生まれ変わります。



主催 庄内地域広げようボランティアの輪連絡協議会
鶴岡田川地区保護司会
共催 鶴岡市教育委員会
後援 庄内町・三川町教育委員会
協力 鶴岡工業高等学校
活動 高校・高専のボラ部活(鶴岡市6、庄内町1)
地域の学生ボラサークル(鶴岡市4、庄内町6、三川町1) 計18
取材 荘内日報社、さくらんぼテレビ

「たった今、ここで大地震が発生したらあなたはどう動き…何をしますか？」

令和4年度 災害ボランティアセンター研修会

11月21日(月)、鶴岡市第三学区コミュニティセンターでウェザーハート災害福祉事務所の千川原公彦代表に講師をお願いし、標記の研修会を開催しました。鶴岡青年会議所、NPO法人鶴岡災害ボランティアネットワーク、鶴岡市災害ボランティアセンター連絡会、鶴岡市社協職員等30名が参加。今回は「この研修中に震度6弱の大地震が発生した」との想定で実施しました。

揺れがおさまったところで、災害ボランティア設置までの動きや準備内容、また地域リーダーの人はこの後どう動くかを、同じような立場に分かれたグループごとに考える、机上・イメージ演習を行いました。



地道な活動に感謝します

～ボランティア活動関係～

鶴岡市社協会長表彰

11月10日(木)、鶴岡市総合保健福祉センターで、令和4年度の鶴岡市社会福祉協議会会長表彰贈呈式が行われました。

皆様の、長年にわたる地道な活動に対して感謝を申し上げます。



ボランティア活動関係の贈呈団体

♡田川民話の会

♡鶴岡南高校 JRC 部

♡藤島地域青少年ボランティアサークル Ben's(ベンズ)

＜らくがき＞ 先日まで暖かい日があったような気がするが、今年もチラホラと雪が降ってきた。季節の移り変わりを年々早く感じるこの頃の私です。毎年この時期に思いつけど、来年こそは穏やかで良い年になってほしい...この地球(ほし)に幸多かれ。＜H＞

